

人がつながる田園都市



あきたかた

議会だより

今回の題字は、^{とみた}富田さくやさん（刈田小学校6年生）です。



決まった! 応援合戦(赤組)の様子(吉田中学校体育祭:9月9日開催)

9月定例会 …………… 2～3

28年度決算審査 …………… 4～6

常任委員会報告 …………… 7～13

一問一答

9人が市政を問う …… 14～18

地域懇談会報告 …… 19～25

高校生との意見交換会 …… 26

あんな こんな

地域のかがやき …………… 28

第55号

2017(平成29)年11月15日発行

可

決

プール新築工事

小学校、小田東小学校の学校統合に伴い、
プールを新築工事により設置

222人(29年5月1日現在) 工事費：2億952万円

9月定例会

9月定例会を9月8日から28日までを会期として開催しました。

一般会計を含む13会計の28年度決算は、予算決算常任委員会へ付託し、本会議最終日において、すべて全員賛成で認定しました。

(決算審査は4～6ページに掲載)

一般会計補正予算など14議案(うち議員発議2件)を、いずれも原案のとおり可決しました。(補正予算審査は7ページに掲載)

一般質問では、9人が市政を問いました。(14～18ページに掲載)



本会議の議決風景

発議(2件)

「全国森林環境税」の創設に関する意見書について

森林が多く所在する山村地域の市町村では、対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。このような中、政府・与党は、「個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設に向けて、30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したことから、「全国森林環境税」の早期導入を強く求めるもの。

全員賛成

道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書について

道路事業では、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率等が50%から55%等に高上げされているが、29年度までの時限措置となっており、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備が推進されるよう、現行制度を継続することを強く要望するもの。

全員賛成

※国の関係機関に提出する。

甲立小学校

平成30年4月1日の甲立小学校、小田
統合後の児童数に応じた規模の
統合後の甲田小学校の学級数 9 学級、児童数

付議された案件

決算認定関係 13件

- 認定第1号 28年度一般会計決算の認定について
- 認定第2号～12号 特別会計決算の認定について（11特別会計）
- 認定第13号 28年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定について（公営企業会計）

条例関係 5件

（新たな条例制定または条例の一部改正）

- 議案第56号 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
（インターネットを利用した申請、届出等の行政手続を可能とするため）
- 議案第57号 個人情報保護条例の一部を改正する条例
（行政機関個人情報保護法の改正による）
- 議案第58号 特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第59号 放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- 議案第60号 上下水道料金審議会条例

事業・予算関係 7件

- 議案第61号 29年度一般会計補正予算
- 議案第62号～66号 29年度特別会計補正予算（5特別会計）
- 議案第67号 工事請負契約の締結について【甲立小学校プール新築工事】

認定

歳出総額 304億6723万円

予算決算常任委員会

9月8日の本会議において審査を付託された28年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算を9月21・22日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 青原敏治
副委員長 玉井直子
委員 議長・監査委員を除く全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

Q 法制執務事業のなかで課題として、紙ベースの例規集を変えていくよう検討するとあるが、今後どのようにするのか。

A 紙ベースの例規集は加除に経費がかかる状況がある。職員のパ

予算決算常任委員会委員長報告(抜粋)

28年度普通会計の決算規模は歳入歳出ともに前年度決算額を上回るものとなった。

財政指標については概ね問題ないレベルにあるが、経常収支比率は普通交付税の合併特例加算の段階的な縮減や臨時財政対策債の発行可能限度額の縮小などの影響により、昨年度より2ポイント上昇した状態となっている。経常的経費の縮減や行政改革の更なる推進、公共施設の配置適正化、受益者負担の適正化といった取り組みが必要となっている。

ソコンから例規を閲覧できる環境があり、必要性を調査し、将来的にはパソコンでの閲覧のみとしていきたい。



安芸高田市例規集



寄附金を活用したブックスタート事業

■ 企画振興部

Q ふるさと応援基金は28年度の寄附をあわせて3300万円の積み立てとなったが、今後の活用は。

A この寄附金は寄附される方の想いに応じた使い方をすべきと考えており、28年度は2事業に活用した。

今後は、地方創生に絡め人口減対策に関わる事業を中心に活用したい。

28年度決算

一般会計・特別会計

歳入総額 315億1243万円

■福祉保健部

Q 吉田病院への設備補助について、28年度の導入実績、実施内容の説明と導入にあたり適正価格での購入なのか、チェックがされているのか。

A 28年度の導入実績で主なものは、病院の診療情報やカルテ情報をそれぞれの病院や診療所で共有できるようにする。

ひとくちメモ

○一般会計

通常の行政事業の範囲で毎年必要となる経理

○特別会計(11会計)

- ・一般会計から切り離して独立して行われる経理
- ・国民健康保険
- ・介護保険
- ・簡易水道
- ・公共下水道

など

■産業振興部

Q 産直市の販売目標額を約5億円とされているが、実績ではかなり下回っている。この結果をどう受け止め、事業のあり方をどう考えているのか。

進める取り組みで、機器の整備を行っている。チェックについては見積書・請求書・機器の写真・設備台帳により行っている。

A 売上については、販売額が落ちている実態があり、要因を分析する必要がある。



JA広島厚生連吉田総合病院

農家の高齢化、農地の荒廃も少しずつ進んでおり、それぞれの施策を総合的に取り組むことで伸ばしていきたい。
また、道の駅整備事業を通じて動機付けをしていきながら、産直市会員を増やし、意欲を高めていく施策が必要と考える。



ふれあいたかた産直市の新鮮野菜

■市民部

Q 環境保全事業について、水質検査の箇所数に検討を要するところがあるが、金額等も含め、箇所数をどう検討するのか。

A 事業実施にあたり、箇所単価について設計よりはるかに安い金額で入札されているが、年々単価が高くなる現状があり、調査項目を含め、箇所数の見直しが必要ということである。



毎年行う河川水質検査



アスファルト舗装工事の様子

■建設部

Q 公共事業が減るなか、市内業者が入札に参加できるようなしなれば市内の業者も減少する傾向である。総合評価方式も含め、これからの入札方法の考え方については。

A 現在の入札は一般競争入札と指名競争入札で行っている。総合評価方式については過去に何度か行った例があるが、今後進めるために要綱の制定など行っている最中である。

■教育委員会

Q 学校事務補助員等の配置について、検討するところがあるがどのようにするのか。

A 現在は市費で吉田小学校と吉田中学校に事務補助員を配置している。本市では学校事務職員が市の財務事務を担っており、学校配置の事務補助員を教育委員会事務局に配置することにより財務事務の集約を検討したい。学校統合を踏まえ、バランスを考えた適正な配置を検討したい。



吉田小学校事務職員・補助員

市長の出張旅費に関する事務検査終了から1年 事務改善の検証と成果等の報告あり

委員会最終報告において、「公用車使用簿（様式）は、運行内容を明確にするため改善を求めるとともに、28年度の出納閉鎖後には、事務改善の検証及び成果等について、議会に報告されたい」として、事務検査のすべてを終了していました。

この度、28年度決算審査に際して、前述の最終報告に対する事務改善等について、執行部より下記のとおり報告がありました。

28年度における航空機を利用した旅費について

28年度の航空機を利用した出張について、特別職（市長・副市長・教育長、議員を含む）が31回、一般職が49回ありました。主に安価に利用できる宿泊パック等を使い、割安な旅程になるよう努めています。普通運賃での利用はありませんでした。

そのうち、広島⇄羽田間45回の航空運賃を例に効果として、普通運賃と比較して約192万円の経費節減に努めたと見込んでいます。

また、公用車の運転日誌については、28年11月から様式を改め、点検事項等を追加して運用しています。

29年度補正

既定の予算総額に6億8128万円を追加

(一般会計総額 217億1372万円)

審査終了後、委員会として意見を申し入れ

可決

主な質疑

■ 企画振興部

地域おこし協力隊員の起業支援助成金

200万円増額

Q 助成金の詳細な補正内容は。

A 隊員の中に今年度で3年の任期を迎える者がおり、満了後に起業する際に100万円を上限に支援する制

農林水産施設災害復旧費

20箇所 8646万円増額

土木施設災害復旧費

35箇所 3億299万円増額

度で、2名分の200万円を計上。

■ 福祉保健部

生活支援員制度交付金 312万円増額

Q 支援員4名を雇用されるが、配置計画及び役割は。

A 吉田地域に1名、八千代・向原地域に1名、美土里・高宮地域に1名、甲田地域に1名を配置する計画である。

役割については、制度実施する地域振興会の支援と、実施に至っていない地域を実施に向けて支援することを目的としている。

■ 建設部

市有住宅の公有財産購入費 3110万円増額

Q 常友住宅駐車場の購入となっているが、改めて駐車場の確保する理由は。



常友住宅駐車場予定地

A 現在の常友住宅の駐車場は借地となっており、所有者の事業拡張により駐車場の移転要望があった。代替場所の確保を求めていたところ、確保の目処が立ち、その用地を購入して使用するため。

■ 教育委員会

英語検定の受験料支援 61万円増額

Q 増額になった経緯と今後の方向性は。

A すべて個人負担をしていたものを、今年度より1人1回につき公費負担しようとするもので、当初、どれだけの生徒が受験をするか把握できず400名分を計上。各中学校の理解を得て、全生徒が受験する体制が整ったため、全生徒分の予算を確保するもの。今後も継続する予定。

■ 討論

補正の一部に説明が不十分なものがある。しっかりと協議されたうえで提案するよう強く要望し、賛成。

委員会から執行部へ意見の申し入れ

今後の円滑な審査の運営に向けて、委員会から執行部へ次のとおり意見を申し入れました。

「提案される場合、例えば災害の件数・箇所数や場所等については、資料を添付するなど、市民・議会にわかりやすく丁寧な説明をいただきたい。」

総務企画常任委員会

9月13日に委員会を開き、議案3件を慎重に審査しました。

(主な審査)

- 安芸高田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
- 安芸高田市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

- 委員長 穴戸 邦夫
副委員長 山根 温子
委員 菅田 宏治
石飛 慶久
塚本 近
先川 和幸

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例



イメージ
「地方公共団体情報システム機構提供資料より」

概要

マイナンバー制度の普及に伴い、今後進むマイナポータルやコンビニ交付の利用について、適切な利用を図るため必要な条例の新設と既存の条例の一部を改正する。

質疑

山根 ワンストップ・カードアクションプログラムは、マイナンバーカード普及を目的としたプログラムだと思いが、マイナンバーカードの普及率はどの程度か。

竹本情報管理室長

29年8月31日現在で12.9%であり、前回報告した5月31日の11.09%より1.81%上がっている。

ひとくちメモ

※マイナポータル 主にマイナンバーに関連した個人情報や自ら確認できるポータルサイト

新たに非常勤職員の設置

- 生活支援員
- 政策形成アドバイザー
- 上下水道料金審議会の会長及び委員

概要

今後、事務事業などの執行のため、新たに生活支援員、政策形成アドバイザーなど4つの非常勤特別職を設置し、それぞれ報酬の日額・月額を定めるもの。

質疑

先川 生活支援員制度について、これまでも民生委員・児童委員や社会福祉協議会、老人会等で見守り活動をされているが、新たに振興会でも見守り活動をするようになる。これまでの施策とこれからの施策の整合性は。

竹本副市長

民生委員・児童委員や社協・老人クラブ等がいろいろな形で見守りをされているが、個人の情報や状況が確実に行政に上がってこない仕組みであるので、個人に適したサービスの提供ができるような制度として定着させ

ていく。

塚本 政策形成アドバイザーは第3者が客観的にいろいろな見方をされ、市長にアドバイスをされる方を人選すべきと思うが、総合計画審議会をはじめ、各種協議会・審議会等の委員をされている方の委嘱を予定されている。協議会や審議会等での意見と、アドバイザーとしての意見の調整はうまくいくのか。

竹本副市長

市の総合計画を作ることはなく、施策の実施にあたって全国的な動向や状況を把握するため現地調査を行ったり、幅広い知見からアドバイスを頂戴する形で携わっていただく。

先進地視察

大山町 (鳥取県) 雲南市 (鳥根県) ^{ほうきちょう}伯耆町 (鳥取県) 三次市 (広島県)
7月13日～14日

視察地	視察テーマ	特徴
<p>鳥取県大山町 人口：16,630人 世帯数：5,707世帯 面積：189.83km² 高齢化率：37.8%</p>	<p>中山間地の定住と経済循環を支える拠点の形成について</p> 	<p>◇^{おうさか}逢坂地区19集落でつくる地域自主組織「やらいや逢坂」は、支えあいの地域づくり、地域住民の交流、各種団体・集落との連携を担っている。</p> <p>◇自治体とは異なり、Uターン者などの若者が中心となって組織し、行政からの補助金や受託事業により運営。</p>
<p>鳥根県雲南市 人口：39,524人 世帯数：13,865世帯 面積：553.18km² 高齢化率：37.3%</p>	<p>中山間地の定住と経済循環を支える拠点の形成について</p> 	<p>◇廃校になっていた波多小学校を、公民館機能を有する「波多コミュニティセンター」に衣替え。地域住民の交流場として、また買い物など生活に役立つ施設として活用している。</p> <p>◇行政からの交付金(800万円)により交流センター常勤職員5名が中心になって運営している。</p>
<p>鳥取県伯耆町 人口：11,162人 世帯数：3,822世帯 面積：139.44km² 高齢化率：35.3%</p>	<p>中山間地の定住と経済循環を支える拠点の形成について</p>	<p>◇遊休施設を地域の拠点として活用したいとの地域住民の要望により、地域で農家レストラン、ミニコンビニを運営している。</p> <p>◇積極的な移住支援より、町民の生活環境整備の向上対策を推進。</p> <p>◇財政負担にならない持続可能な移住施策でなければ行わない。</p>
<p>広島県三次市 人口：53,484人 世帯数：23,611世帯 面積：778.14km² 高齢化率：34.7%</p>	<p>住民出資の(有)ブルーリバーによる定住対策の取り組み</p>	<p>◇(有)ブルーリバーが新規住民受け入れのために住宅の新築と既存住宅のリフォームを行っている。</p> <p>◇清河コミュニティセンターを住民活動の拠点として、移住対策、地域活性化などに取り組む。</p>

まとめ

高齢化が進み集落の活力が低下する中、視察した4市町いずれの地域も素晴らしいリーダーの下でまちづくりが展開されており、人材が鍵であることを改めて実感した。その前提には、地域の将来像を考え、地域住民が強い危機感を持たれていることも見逃せない点である。定住施策や地域活性化施策においては、将来的な財政負担にならない持続性のある事業展開に向けた選択と集中の考え方や、民間との連携による事業の取り組みは安芸高田市でも生かしていきたい。

文教厚生常任委員会

9月14日に委員会を開き、2件の所管事務調査を行いました。

(所管事務調査)

○通学路の安全点検後の状況について

○生活支援員制度の進捗状況と今後について

委員長
副委員長
委員

- 秋田 雅朝
- 前重 昌敬
- 玉井 直子
- 児玉 史則
- 青原 敏治
- 水戸 眞悟

安芸高田市通学路交通安全プログラム

通学路安全推進会議

- ・市教育委員会
- ・市危機管理課
- ・安芸高田警察署
- ・国土交通省三次河川国道事務所
- ・ // 広島国道事務所
- ・県西部建設事務所
- ・市すぐやる課
- ・市小中学校校長会
- ・市PTA連合会



※現在、市内においては 26 か所で短期（3年以内実施）、長期（長期間要する）、継続（継続して対策）にて実施中です。

生活支援員制度の進捗状況と今後

【背景】

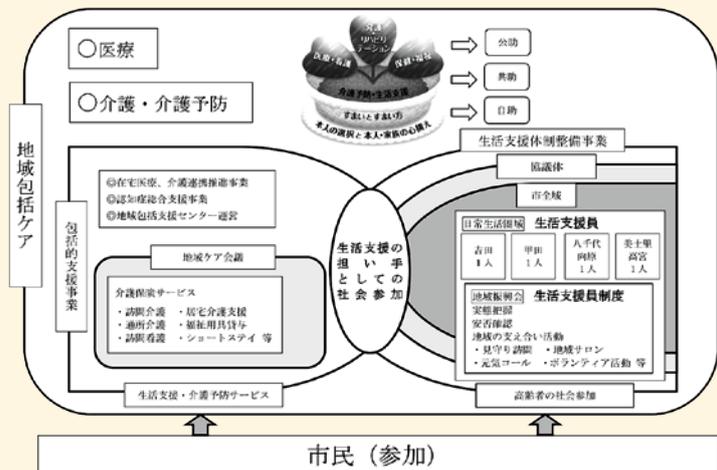
- ・高齢化の進行、独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加、集落機能の弱体化、日常生活が困難

【目的】～住み慣れた地域で安心して生活できる体制～

- ・地域内高齢者等の実態把握から課題の抽出
- ・地域全体で高齢者を見守る体制

【取り組み内容】

- ・市内各地域振興会との協定締結
- ・制度の普及と定着
- ・課題に対して、解決に向けた取り組み
- ・関係団体との重複事業は調整



生活支援員制度イメージ図

研修報告

文教厚生常任委員会



先進地視察



あさかし
朝霞市 (埼玉県)
(どろんこ保育園)

かしわし
柏市 (千葉県)
(地域医療連携センター)

8月23日～24日

	視察地	視察テーマ	特徴
埼玉県	<p>朝霞市 人口:136,909人 世帯数:62,670世帯 面積:18.34km² 高齢化率:19.02% 幼稚園:8園、 保育園:33園</p>	<p>(仮称)甲田認定こども園に併設が可能な保育所併設型病後児保育の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇病児から病後児を一括して預かる方向へ。今後ニーズが増えてくる中で、医師の確保、連携が必要である。 ◇児童発達支援とこども園との連携は不可欠である。 ◇必要な機会を排除する「ダメ」という言葉を使わない保育の実施。
千葉県	<p>柏市 人口:415,300人 世帯数:176,975世帯 面積:114.74km² 高齢化率:24.5%</p>	<p>医療・介護・介護予防・生活支援等が日常生活の場で一体的に提供できる地域での体制づくり(地域包括ケアシステム)の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇早い段階から、長寿化による慢性疾患患者の増加、終末期療養場所の8割が病院といった課題に対し、在宅医療の推進、組織体制、介護保険事業計画への位置づけ、取り組みを実施し市民への啓発を行っている。 ◇在宅医師の確保及び多職種連携における、医療職と介護職の連携強化を実施。 ◇中核拠点施設「柏地域医療連携センター」の設置。 ◇生活支援(地域支え合い体制)、介護予防、社会参加(就労支援等)、住まい(高齢者の住まい確保)の取り組み。



〔朝霞市どろんこ保育園視察研修状況〕



〔柏市地域医療連携センター視察研修状況〕

〈市への提言〉

◇「地域包括ケアシステム」の取り組み

◆生活支援員制度による実態把握から、課題抽出による体制構築(地域包括ケアシステム)を早期に着手すべきである。

産業建設常任委員会

9月12日に委員会を開き、議案1件、陳情・要望5件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市上下水道料金審議会条例

(審査した陳情)

○「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について
ほか1件

(審査した要望)

○一般県道船木上福田線拡張工事早期完成について
ほか2件

委員長 大下 正幸
副委員長 玉重 輝吉
委員 新田 和明
山本 優
熊高 昌三
金行 哲昭

上下水道料金審議会条例

概要

市民・学識経験者を有する者等から上下水道料金について幅広い意見を聴き、適正化を図るため安芸高田市上下水道料金審議会を置く。

質疑

山本 新聞紙上で水道事業を県で統合するとあったが、その件と審議会を設置して進めることはどのような関係になるのか。

久城上下水道課特命担当課長

広域的に一緒に経営・運営する将来的なこととして県から統合協議の話が出ている。審議会を立ち上げるのは、現在をどう乗り切っていくかで出てきた議論で、経営を維持していくため早急に対応を練らなければならぬと考えている。

陳情・要望

一般県道船木上福田線拡張工事早期完成について

〔要望者〕 高宮町船木振興会会長、下福田・上福田行政嘱託員
〔要旨〕 残り区間において交通事故や豪雨時に法面崩壊が発生しているため、工事の早期完了を求めるもの。
〔審査結果〕 上記の要望は、委員会で現地調査を行い採択することとした。



現地調査の様子

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

〔陳情者〕 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳

道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める活動等について

〔要望者〕 道路促進期成同盟会全国協議会広島県地方協議会 会長 藏田義雄
〔要旨〕 上記の陳情1件・要望1件は、2ページの発議（2件）を参照。
〔審査結果〕 上記の陳情1件・要望1件は、委員会で採択し、発議することとした。

指定管理施設 土師ダムサイクリングターミナル施設についての陳情

安芸高田市創生「田んぼアート2019」（“田園アート 元就新城下町 中世屋台村”）プロジェクト推進にかかる要望書

〔審査結果〕 上記の陳情1件・要望1件は、委員会で継続審査することとした。

甲田町高田原地域の生活道路安全確保に関する陳情

6月の委員会で継続審査となっていた陳情について、8月7日に現地調査を行った。結果として、陳情のとおり歩行者・自転車利用者が安心して往来できる道路にするために歩道・自転車道の設置が必要であることを強く認識した。

〔審査結果〕 上記の陳情は、県と市が連携を取り、課題を整理して対応するよう市長へ要望し、委員会で採択することとした。



現地調査の様子

研修報告

先進地視察

いなかだてむら
田舎館村 (青森県)

(人口: 7,783人・面積: 22.35 km²) 7月13日～14日

産業建設常任委員会



視察地	視察テーマ	特徴
<p>田んぼアート 第1会場 (田舎館村役場)</p>	<p>田んぼアート事業について</p>	<p>○平成5年、村おこし事業として、稲作体験ツアーを始めている。このとき、古代米を含む3種類の稲を用いて水田に稲文字を描いたのが始まり。 平成14年、テレビ番組に応募し、1000人による田植えイベントを開催し、巨大な絵柄に挑戦。以来、田んぼアートと称されるようになる。</p>
<p>田んぼアート 第2会場 (道の駅いなかだて「弥生の里」)</p> <p>(展望所)</p> <p>スノーアート →</p>		<p>○田んぼアート事業の中心となるのは、村・農業協同組合・商工会で構成された「田舎館村むらおこし推進協議会」。昨年は約34万人(第1会場約18万人、第2会場約16万人)が観賞に訪れている。</p> <p>○第2会場である「道の駅いなかだて弥生の里」は展望所を新設し敷地内の池(面積約1ha)を埋立て、田んぼアートを実施している。また、同時に隣接して石アートも実施しており、集客向上に向けて積極的に取り組んでいた。冬季には雪原に雪を踏み歩き模様を描くスノーアートにも現在取り組んでいる。</p>

まとめ

田舎館村「田んぼアート」は想像以上の大きなスケールであり大変驚いた。なにより村自体に山や坂道がない平地のような印象を受けた。本市に導入するには、育苗・アートの設計・デザイン(著作権の問題、テーマ)・場所の選定など課題が山積。また、職員の取り組み方やボランティアの受け入れ、さらには地元住民の理解と協力の後押しなどを得ることが必要不可欠である。

今後は行政が中心となり、上記の課題を認識して早急な対応・対策が急務であり、委員会としても動向を注視して慎重に審議するとともに事業展開を見極める必要がある。

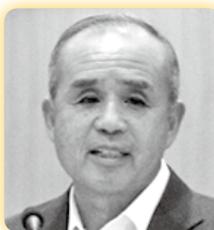
9人が 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。



宍戸 成果と課題は。
市長 成果は、保育料無料化に向けた取り組み等、環境整備が進んでいる。課題は、まち・ひと・しごと創生総合戦略等、整合性を図りながら事業を進めていく必要がある。

宍戸 子ども・子育て会議の活動は。
市長 子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育て環境整備を進めてきた。



宍戸 邦夫
(無所属)

宍戸 広報・啓発は。
市長 各種団体等に努める。

子育て支援

子ども・子育て支援事業計画
市長／安心して子育てできる環境整備を進める



子育て環境充実に向けて

宍戸 国のコメ生産調整見直しで、市の農業施策の再点検が必要では。
市長 JA広島北部と連携し、農作物の産地化等取り組みたい。事業の再点検も必要に応じて行う。

農家所得の向上

芦田 田んぼアート事業に取り組むうえでの課題は何か。
市長 基盤整備、開催地選定、技術習得を含め、市民の賛同を得て推進体制、組織の確立を図ること。



芦田 宏治 (無所属)

田んぼアート事業 田んぼアート事業に取り組むうえでの課題は
市長/市民の賛同を得て推進体制、組織の確立を図ること

芦田 中長期的にこの事業をどのような方向に持っていきたいと考えているのか。

芦田 田んぼアートの開催期間は約4か月。残りの8か月のオフシーズンは何をやるのか。
市長 具体的な計画はまだ立てていない。



青森県田舎館村の田んぼアート

- (その他の質問)
- 人口減少対策
 - 行政改革の推進

市長 年間10万人の観光客を想定している。田んぼアートの成功により地域の活性化や農業振興に好影響を与えていくことを期待している。

山根 ICT人材育

山根 未来に向けた施策展開は。
市長 教育環境整備により、学校レベルを上げるよう指示した。



山根 温子 (無所属)

未来に向けた教育 ICT社会に向けた教育方針は
教育長/人材育成とインフラ整備の推進

山根 情報通信技術(ICT)の進む社会では、子ども達が働く職種も変化してくる。未来に向けた教育方針は。
教育長 人材育成とインフラ整備を計画的に推進する。

成により、小中学校から地元高校、そして地元就労につながる事の検討を提言する。



電子黒板を使った授業風景

山根 地域振興に係る補助金縮減の中、振興組織への考えは。
市長 振興組織を支援し、協働のまちづくりを進める姿勢に変わりはない。

まちづくりと地域振興組織

市長 学校レベルを上げる事と同じ議論。

小さな拠点

地域の実態把握、ニーズ・課題抽出、対策の取り組みが必要では

市長 地域の働きを支援していきたい



前重 昌敬 (無所属)

前重 住民の暮らしを支える生活サポートシステムの構築や

前重 小さな拠点づくりは、地域住民が主体となって暮らしに必要な機能やサービスを補っていくことが期待される。そのためには、地域の実態把握を行い、ニーズ・課題を抽出し、地域内で協議を重ねて対策していくことが重要と考えるが。

市長 本市としても、地域のこういった働きを支援していきたいと考えている。

地域づくりの4つの仕組み

1. 合意形成 (PDCA)
2. ひとづくり
3. 資金づくり (しごと・稼ぐ)
4. つながる (ネットワーク)

小さな拠点に向けて

なりわいを継承・創出活動の育成支援の交付金・補助金は、**市長** どのような補助金を適用できるか、地域の皆さんとで探っていく。

減反政策が廃止されるが

市長/米価安定につながるよう努める

減反について



金行 哲昭 (無所属)

金行 30年度から減反政策が廃止されるが、我が市の米政策の今後については、**市長** JA広島北部と連携した結び米、酒米やモチ米等の売れる米づくりを推進し、米価安定につな



土地を守る農家

がるよう努める。

産業廃棄物最終処分場

金行 甲田町高田原に産業廃棄物最終処分場の計画があると聞いているが、市はどこまで把握されているのか。

市長 地元では説明

会が行われたようだが、設置予定事業者が事前協議書を県へ提出される準備段階であり、県から市への通知を待って対応を図っていきたい。

(その他の質問)

○空き家対策

災害対策

内水排除について

市長／大きな課題であり、国とも連携を深め対応していく



玉井 直子
(無所属)

芸備線甲立駅 周辺について

玉井 列車発着時の駅周辺の現状と交通

玉井 台風やゲリラ豪雨等で局地的に大雨が降り、内水被害が発生しているが、対応や今後の課題は。
市長 内水排除は重要課題。国からの排水ポンプ車を内水被害の大きい場所に配置して、排除に努めている。国へ増台を要望。土師ダム管理所へは、被害軽減のための流量調整の要請を行っている。



甲田町における内水被害（7月の大雨）

状況、その対策については。
市長 送迎車両が停車できるスペースは、よりわかりやすく、看板等で表示する。芸備線各駅には、より一層便利に利用できる環境にしていきたい。土地の有効活用も含め検討する。

ヘルプマークの周知を

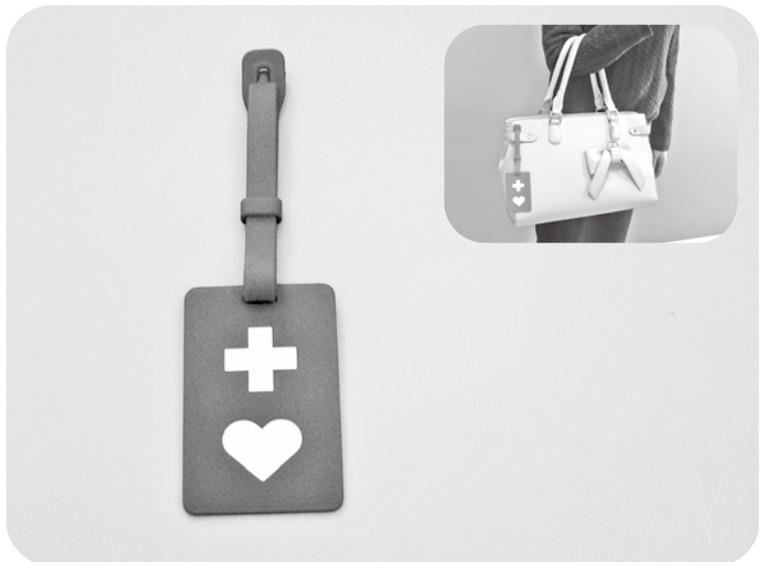
市長／啓発に積極的に取り組む

支え合う社会の構築



秋田 雅朝
(無所属)

秋田 ヘルプマーク導入の意義と周知は。
市長 市民にこのマークが「支援が必要」という意思表示」と気が付いていただくことが大事で、啓発に積極的に取り組む。



配慮や手助けを必要とすることを示すヘルプマーク

秋田 「こころの相談窓口」の充実を。
市長 地域で支え合うために、市民がゲートキーパーとなつて必要な支援につなげることができるように取り組んでいく。

秋田 支え合う社会の構築には、地域支え合い体制の整備が必要と考えるが。
市長 高齢者等の生活様式を把握し、必要な支援を提供できる仕組みを構築する生活支援員制度を全市で展開していきたいと考えている。

その他の質問

○障害福祉について
○安心な暮らし対策

精神疾患患者への支援が必要では

市長/国、県への医療費助成を要望していく



児玉 史則
(無所属)

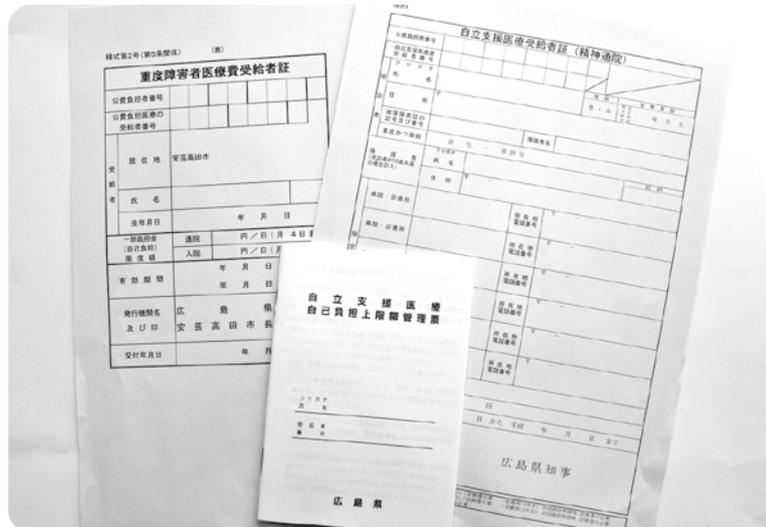
児玉 重度障害者医療制度に精神障害者を含めるよう県への働きかけが必要では。
市長 国や県に要望し、不可能なら当市として検討する。

中学校統廃合

児玉 20年から耐震化、今年度からエアカン設置、ICT機器の全中学校へ配置を進めている段階で、統廃合は時期尚早では。
教育長 当面の間、現行の6校の体制も視野に入れ、総合的

に判断していく。

児玉 市民との懇談会において、小中学校一貫校にして、各町に残してほしいとの要望があり、検討が必要では。
市長 幼小中、小中、中高の一貫教育も議論する必要があると考えている。



精神疾患患者の福祉施策の充実を

山資源活用策

計画的な森林整備が必要では

市長/木材を大切にしまちづくりを考える



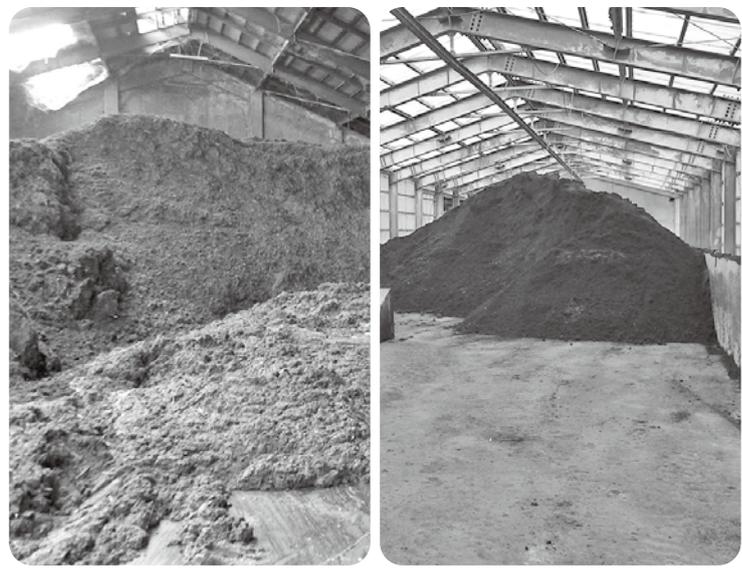
熊高 昌三
(無所属)

熊高 森林整備計画の現状は。
市長 森林資源である未利用材の有効活用を図る。

化し、堆肥づくりに利用する仕組みの中で、美土里堆肥センターの現状改善にも取り組んでいる。

猪掛産業振興部長

27年度から10年間の計画があり、方針の中には有害鳥獣対策も含んでおり、整備を進めるには、発生する未利用材を利用できる仕組みづくりが必要不可欠である。また、竹林整備も合わせて行う必要がある、竹をチップ



良質堆肥への改善が少しずつ進んでいる (美土里堆肥センター)

JR三江線対策

熊高 三江線代替交通の安全確保へ、乙木地区の架橋推進を。
市長

広島県の大事な道路網として位置付け、この際整備計画の中に組み入れていただくよう強く強く知事に要望している。

「安芸高田市議会による地域懇談会」 結果報告



安芸高田市議会議長
先川 和幸

昨年11月の安芸高田市議選から、はや1年が経とうとしています。市民の皆様方におかれましては、日頃より本市議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、市議18人は選挙において「皆様の声を市政に」を掲げており、二元代表制の一方の柱としてこれまで以上に民意を反映させる覚悟であります。

しかし、安芸高田市全般の声はなかなか汲み取りにくいのが現実であります。

そこで、新たな試みとして各常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）、それぞれ6人の委員が市内6町にお伺いし、下記の課題等についてお聞きしたところであります。

おかげさまで、出席いただいた皆様からご意見を賜り、今後、委員会や一般質問等を通じ、「皆様の声」を執行部に届けてまいります。

今後とも引き続きご協力のほどお願い申し上げます、冒頭のあいさつといたします。

4月から8月までの期間、任意で関係する各種団体の皆様に呼び掛けをさせていただき、意見交換を中心に懇談会を開催しました。

たくさんの貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

今号では、前号（第54号）で経過報告しました4会場以降、開催した残りの各2会場のご意見（抜粋）を掲載し、最後に委員会ごとに6会場の総括を行い、地域懇談会結果報告とさせていただきます。

○ 懇談会テーマ一覧

	総務企画常任委員会	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会
委員会テーマ	①人口減少対策とまちづくり ②公共施設のこれから	①中学校における学校規模適正化 ②元気なまちづくり（認知症の課題等元気な高齢者づくり）	①若者定住 ②空き家対策（農業政策） ③鳥獣対策 ④道の駅
各町の地域課題	委員会テーマを含んだ地域課題	【吉田町】 登下校時の安全対策、課題 【八千代町】 通学路 【美土里町】 通学路、お太助ワゴン 【高宮町】 小学校学校規模適正化 【甲田町】 一人暮らし世帯の見守り 登下校時の安全対策、課題 【向原町】 一人暮らし世帯の見守り	【吉田町】 自由意見交換 【八千代町】 54号線の交通対策 【美土里町】 地籍調査 【高宮町】 農業後継者、三江線 【甲田町】 里山 【向原町】 東広島高田道路（歩道・取付道路） 県道改良
開催日場所来場者	■4月18日（火）19:00～17名 クリスタルアージュ ■4月19日（水）19:00～10名 八千代文化施設フォルテ ■5月30日（火）19:00～4名 市役所美土里支所2階 ■5月31日（水）19:00～25名 市役所高宮支所ホール ■8月1日（火）19:00～8名 市役所甲田支所2階 ■8月3日（木）19:00～17名 向原生涯学習センターみらい	■4月15日（土）13:30～30名 市役所美土里支所2階 ■4月16日（日）13:30～51名 市役所高宮支所ホール ■5月28日（日）13:30～26名 向原生涯学習センターみらい ■5月30日（火）19:30～27名 市役所甲田支所2階 ■8月6日（日）13:30～26名 八千代文化施設フォルテ ■8月20日（日）13:30～23名 クリスタルアージュ	■4月20日（木）19:00～12名 市役所甲田支所2階 ■4月27日（木）19:00～23名 向原生涯学習センターみらい ■5月17日（水）18:00～15名 可愛振興センター ■5月26日（金）19:00～7名 八千代文化施設フォルテ ■7月20日（木）19:30～13名 市役所高宮支所ホール ■7月21日（金）19:30～9名 市役所美土里支所2階

総務企画常任委員会 ～テーマ～

- ①人口減少対策とまちづくり
- ②公共施設のこれから

掲載中のご意見は、テーマ番号①～②に対してのご意見です。



甲田会場

8月1日(火)19:00～ 来場者8名

- ①・全国どこでもやっていることをしても、魅力はない。
- ・若い世帯を引き込む子育て支援策や低所得者が住めるような住宅への補助施策を。
- ・街の人にとっては、暗いのも魅力。交流人口を増やして魅力を知ってもらう。
- ②・市民意識の醸成が必要。総合計画は生かされているのか。
- ・道の駅に10億円かけるならば、広報誌などでメリットの説明がもっと必要。

8月3日(木)19:00～ 来場者17名

- ①・目に見える施策と、そのPRやセールスが必要。
- ・よその街より違った施策で特色ある向原に。
- ・広島方面との交通体系の見直しを。
- ・働けるところがなく、帰るメリットがない。
- ・子どもが楽しめる場がない。
- ②・支所と「みらい」の統合などについては、住民の意見を聞いて。
- ・財政的なことばかり優先せず、各町の文化を育む施設は必要。
- ・避難場所となる基幹センターの耐震化は。



向原会場

地域の課題

甲田地域

主な質問やご意見

- ◆地域おこし協力隊員が何をされているのかわからない。
- ◆防犯カメラが少ないと感じる。車を傷つけられることもあり、カメラの台数を増やして防犯を。
- ◆芸備線をもっと活用できるようにするため、駅に広い駐車場がほしい。
- ◆保水を考えると農地もインフラの一部である。田んぼを守ることも必要。

向原地域

主な質問やご意見

- ◆陳情・要望への議会の対応は。
- ◆地域振興事業団の仕事や職員について。
- ◆道の駅の進捗状況について。
- ◆介護へのGPS位置情報サービス機器の利用について。
- ◆向原高校存続への対策が必要では。

地域懇談会のまとめ

(委員長：宍戸、副委員長：山根、委員：芦田、石飛、塚本、先川)

「人口減少対策とまちづくり」「公共施設のこれから」を共通テーマとして、地域振興会、消防、交通安全に関する団体などを対象に、各町6か所で開催。81名の参加をいただきました。

①「人口減少対策とまちづくり」について

- ・子育て、教育、住みやすさ、働く場に対して進めている市の施策をもっとしっかりとPRしていくことが大切。
- ・若者が定住するには、雇用の場の確保が大切であり、またUターンするメリットとしての地域や行政支援策が必要である。
- ・空き家の利活用を積極的に進めること。
- ・今住んでいる人の満足度が高くなるまちづくりを進めること。
- ・都市との交流を促進するためにも、JR芸備線の時間短縮を考えては。

②「公共施設のこれから」について

- ・施設の廃止などは、市民の意見を十分聞くべき。また、設置した時の経緯を知って十分協議をすること。
- ・集会所などは地域において必要であり、施設の修繕・整備を望む。
- ・合併前の箱物を市として生かすのか、民間活用を含めて検討を。
- ・子どもの遊び場として少年自然の家(輝ら里)は、規模縮小をしてでも残した方がよい。



どうなる今後の輝ら里

地域の課題

吉田町

- ・道の駅整備に関する情報開示や市民への説明を。
- ・見守り隊の隊員減少への対策や冬場の対策、交通傷害保険の検討を。

高宮町

- ・お太助ワゴンの土日の運行、高齢者が免許を返納しても生活できる支援策を。
- ・北部分駐所の夜間稼働がないので不安。

八千代町

- ・上根にバスセンターの設置を望むとともに、深夜の交通の便の検討が必要。
- ・近くに買い物をする店がなく不便。

甲田町

- ・防犯カメラの増設で安全・安心なまちに。

美土里町

- ・まちづくりは長期的なビジョンが必要。
- ・働き方改革を市職員から。

向原町

- ・向原高校は生徒数が減少傾向であり、存続が心配される。早急な対策が必要ではないか。

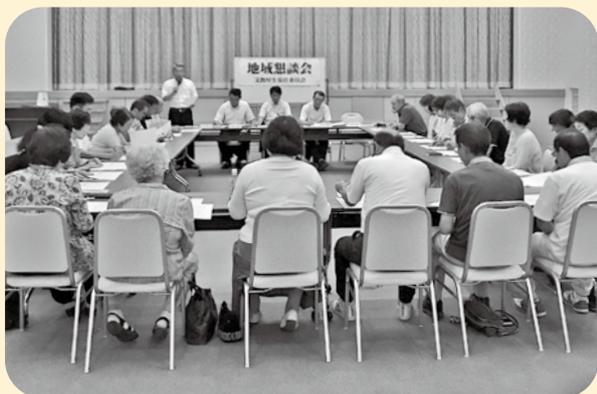
今後の取り組み

多くのご意見やご提言をいただきました。すべて掲載することができませんがいただきましたご意見などは、委員会で整理し対策など執行部(担当部署)と連携しながら、今後の議会(委員会)活動やまちづくりに活かしてまいります。

文教厚生常任委員会 ～テーマ～

- ① 中学校における学校規模適正化について
- ② 元気なまちづくりについて（認知症の課題等元気な高齢者づくり）

掲載中のご意見は、テーマ番号①～②に対してのご意見です。



八千代会場

8月6日(日)13:30～15:50 来場者 26名

- ①
 - ・ 10年から15年の計画で、小中一貫校を検討してもらいたい。
 - ・ 今の中学校ではクラブを選ばない。大勢で色々経験できるのも良いのではないかと、検討を。
 - ・ 跡地活用について、統合と並行して検討してもらいたい。
- ②
 - ・ 高齢者の認知は、なる前のフォローが大事と考える。
 - ・ そのための、健康づくりが大切である。

8月20日(日)13:30～15:30 来場者 23名

- ①
 - ・ 統合に対し地域は、児童、生徒本位で考えてほしい。
 - ・ 保育世代、小学校低学年保護者との協議が必要。少ない中学校の保護者がどう考えるか意見を聴く必要がある。
 - ・ 中高一貫校で、中心部に集約施設を。
- ②
 - ・ 認知症を抱えておられる方々が、隠しておいてほしいという事例もある。
 - ・ サロン活動は、身近にいける場所で開催願う。



吉田会場

地域の課題

八千代地域

主な質問やご意見

◆通学路について

- ・ 南条装備とフォルテの間が混んで困る。特に、通勤時間帯に渋滞し、その迂回路として通学路に車が多く進入してくる状況が続いているので、早急の対策をお願いしたい。

吉田地域

主な質問やご意見

◆登下校時の安全対策、課題について

- ・ 中学校通学路の土手沿いのガードレール等の対策ができてない。
- ・ 市道郡山線等、送迎車両が増加。3年前から速度制限を要望している。その後の対応はどうか。
- ・ 小中学校の安全対策等 PTA 内で協議後、どこへ相談すればよいか。
- ・ 登下校時の見守り体制で、協力くださる方がおられない。

地域懇談会のまとめ

(委員長：秋田、副委員長：前重、委員：玉井、児玉、青原、水戸)

① 中学校における規模適正化について

【意見】

- ・生徒数が少なく、部活動が成り立たないクラブもあるのが現状。
- ・地域から学校がなくなるのは寂しい。
- ・小中一貫校の対策も視野に入れて考えてほしい。
- ・分教場制度を考えてみてはどうか。
- ・子ども達の思いを大切に検討願いたい。
- ・中心部に集約した、中高一貫校の施設を設置してはどうか。
- ・地域のためにではなく、児童・生徒本位で考えてほしい。子ども達はどうかあるべきか。



現在の甲田中学校

【今後の取り組み】

- ・いただいた意見は、今後の検討課題であり、教育委員会の考え方を注視しながら、委員会としてもアンケート結果の報告も受け、所管事務調査も含め十分な検討を重ねてまいります。

② 元気なまちづくりについて（認知症の課題等元気な高齢者づくり）

【意見】

- ・高齢者を支えるヘルパーさん等が高齢化しており課題である。
- ・高齢者は色々課題を抱えており、支え合う社会を築いていこうと話すが、決め手がないまま生活している。お互いの知恵を出し合う必要があると思うが。
- ・地域の実態把握が必要で、高齢者に対する関わり方の検討が課題と思う。また、地域ぐるみで、高齢者等をサポートする体制が必要である。
- ・見守り等、一本化して対応してほしい。
- ・地域が元気になる仕組みづくりを誰がやるのか。

【今後の取り組み】

- ・生活支援員制度をうまく活用頂き、地域にあった人材の確保、社会参加を積極的に委員会として所管事務調査を行い、市民目線に立った取り組みとなるよう、執行部へ対応を求めています。

地域の課題

【美土里地域】

- ・通学路の街灯設置、お太助ワゴン土日運休の見直し
……これまでの経緯も含め委員会等で検討。

【甲田地域】

- ・一人暮らし世帯の見守りについて
……今後の生活支援員制度を活用いただき、地域振興会等と連携を行い担当課等の動きを注視していきます。
- ・登下校時の安全対策、課題について
……智徳橋歩道橋設置要望の件は、動向を注視し検討していきます。

【八千代地域】

- ・通学路について
……28年度の対策では路面標示を行い、長期対策として歩道設置また、安芸高田警察署との協議により、信号機の形態変更を検討されています。

【高宮地域】

- ・小学校規模適正化について
……各小学校区で小学校統合問題を考える意見交換会開催中であり、委員会も注視していきます。

【向原地域】

- ・一人暮らし世帯の見守りについて
……今後の生活支援員制度を活用いただき、地域振興会等と連携を行い担当課等の動きを注視していきます。

【吉田地域】

- ・登下校時の安全対策、課題について
……ガードレール設置は、担当部署に対策を求めています。
- ……市道郡山線等の速度制限は、今年度中に対応される予定です。
- ……見守り体制の人員不足は、検討課題として協議していきます。

産業建設常任委員会 ～テーマ～

- ①若者定住について ②空き家対策（農業政策）について
③鳥獣対策について ④道の駅について

掲載中のご意見は、テーマ番号①～④に対してのご意見です。



高宮会場

7月20日(木)19:30～ 来場者13名

- ①・地域に活気がない。市外から呼び込みをしてほしい。
- ②・5年前から米の直接支払が無くなるのがわかっていの中で、行政・議会はいったい何をしてきたのか。また今後どう対応する予定なのか。
 - ・中山間直接支払・多面的機能支払について、制度運用を現状にあわせて改正すべき。
 - ・農業関係の書類申請が複雑すぎる。高齢者には対応困難。
- ③・鳥獣対策で猟友会(捕獲班)に入らなくても、駆除可能な許可証を発行してほしい。
 - ・罠の資格を持っていても、狩猟期間以外には仕掛けられない。柔軟な対応を願う。

7月21日(金)19:30～ 来場者9名

- ①・産後在宅中でも3～6か月は預かり保育をしてほしい。
- ②・農業事務作業が大変。対応できる組織を市で確立してほしい。
 - ・危険空き家の解体対応の強化と補助金の拡充を。
- ③・鳥獣害対策補助金を一軒でも補助対象にしてほしい。
 - ・鳥獣対策の効果をあげるため、ハンターのプロ化を進めてほしい。



美土里会場

地域の課題

高宮地域

主な質問やご意見

- ◆旧町の特徴が最近特に無くなった。
- ◆市として野良猫対策をもっとやってほしい。県の対応では不十分。
- ◆地元企業に若い方が働く後押しを市として何かできないか。
- ◆労働人口が少なく将来への投資が厳しい。不安である。

美土里地域

主な質問やご意見

- ◆地籍調査については、市が積極的に取り組んでほしい。
- ◆ふるさと応援の会と地域振興会との交流の場を設けてほしい。
- ◆地域とU・Iターン者の結びつきの強化のため専門員の配置をしてほしい。
- ◆地域おこし協力隊員の三年後の定住プランの構築。新たな隊員も地域で育てるので送り込んでほしい。

地域懇談会のまとめ

(委員長：大下、副委員長：玉重、委員：新田、山本、熊高、金行)

①若者定住について

女性や子育て世代が住みやすいまちづくりとして、夜間対応小児科や学校環境の充実など、安心して暮らせて帰ってきたいくなる町への提案が多くあり、甲田町・向原町では JR 芸備線を活用した定住を呼び掛ける意見がありました。また、U・I ターンの方への住宅新築、改築補助金を手厚く対応するといった思い切った政策を求める意見がありました。

委員会としては、上記を参考に住宅政策を中心に他の委員会と連携して調査してまいります。

②空き家対策（農業政策）について

危険空き家の解体に加え、建て替えの補助金拡充の仕組みの提案がありました。また、市の農業関連補助金の事務作業が複雑で、報告事項の簡素化や市職員の指導の要望が多くありました。

委員会としては、上記を踏まえて補助金の拡充や事務の簡素化の検討を市の担当部署へ求めてまいります。

③鳥獣対策について

ジビエの取り組みより、まずは駆除を優先した対策の要望や市の農作物被害の防止対策に不満を抱いている意見が多くありました。

委員会としては、上記を踏まえて市の担当部署へ捕獲重視の対策推進を提言しました。

④道の駅について

八千代町・甲田町・向原町では整備に対して慎重な意見でしたが、吉田町では人口減対策と農業従事者増の取り組みとして前向きな意見があり、地域差が目立ちました。

また、物が売ればいいだけではなく、市民に誇れる安芸高田の拠点になるよう提言がありました。

委員会としては、上記を道の駅調査特別委員会へ引き継ぎ、調査や審議に生かしてまいります。

地域の課題

吉田町では、企業誘致、雇用拡大への意見が多くありました。委員会から市の担当部署へ誘致実現を強く求めています。

甲田町・向原町では、共に JR 芸備線の課題について意見がありました。共通のご意見として、通勤・通学時のダイヤ及び運賃の見直し、また、甲立・吉田口・向原での駐車場の無料化推進等、具体的な提案もいただきました。今後、委員会で協議し、市の担当部署へ提言していきます。

美土里町では、U・I ターン者と地域の結びつき強化のための専門員配置の提案や地域おこし協力隊の地域との結びつき強化といった、地域と新たな定住者との関係強化の意見がありました。今後に向けて有効な対策として認識いたしました。

高宮町では、旧町の特徴が最近特に無くなったと指摘がありました。合併後の市の統一的な施策に伴いこうした課題が時間とともに顕著になっていると考え、全町では共通して特色ある施策への課題があることを受け止めました。

八千代町では国道 54 号線の朝の通勤時間帯の交通渋滞解消を求める意見が多くありました。また、その渋滞回避により交通量が増えた市道勝田根之谷線の通学路が危険であるとのことでした。

委員会では、今回この課題に着目して8月7日に現地調査を行い、五郎丸橋（南）交差点点滅式信号機からフォルテ前までの交通渋滞とその渋滞回避のために市道勝田根之谷線を通る車両が多いことを確認しました。この調査結果を市の担当部署へ報告をし、信号機改善の提案や市道の交通安全対策について現状報告を求めました。

その結果、点滅式信号機については安芸高田警察署で既に定周期式信号機へ変更する渋滞緩和対策が検討中とわかり、市と協議をされていることから今後の経過を待ちたいと考えております。また、交通安全対策は道路標示等でドライバーへの注意喚起はされており、現在道路改良が進んでいることから、完成後の新たな対策に向けて状況を注視してまいります。

高校生と議会との意見交換会

選挙権が「18歳以上」に引き下げられたことから、高校3年生を対象として、議会のしくみ等の説明を行うほか、意見交換を通じて「議会に関心を持ち理解を深めてもらう。選挙の重要性を認識してもらう。まちづくりに参画する意識を持ち、考えてもらう。」ことを目指して、昨年引き続き両高校と連携をして高校生と議員との意見交換会を行いました。

「テーマ別にグループに分かれて意見交換」

向原高校

6月28日(水) 14:35～15:20

意見交換の感想抜粋

- 今まで考えなかったことを発見できよかった。
- 私たち若い世代が市をしっかりと盛り上げていかななくてはならない。
- 市の良さや、どうしたら良くなるのか、良くわかった意見交換でした。
- 将来のことをしっかり考えることができた。



「向原にショッピングモールの建設予定はあるのか、交通の便をもっと良くしてほしい、歩道がないところが多い、夜間の街灯を設置してほしい」といった要望がありました。

議員：人口減少の対策について、どう思いますか。

生徒：子どもをたくさんつくる。遊ぶ場所をつくる。ショッピングモールを建てる。働く場所を増やす。

吉田高校

7月19日(水) 15:30～16:25

次ページにアンケート結果を掲載



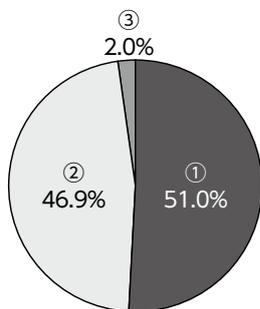
意見交換の感想抜粋

- 外国人が増えているので、ローマ字表記や中国語表記が増えて良いのでは。
- 高校と幼稚園を統合すれば、ふれあいの場が増え、育児への関心が高まり、少子化対策になるのではないか。
- 空き地などを利用して、捨て猫などの動物保護施設を作れないか。
- 今回のような市議会等との交流の場を増やしてほしい。
- 安芸高田市の人口問題が深刻であることを知った。今年からしっかり選挙に参加していきたい。

吉田高校の生徒に聞きました。アンケート一部抜粋（98人回答）

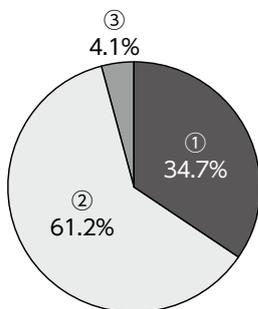
市議会について理解が深まりましたか。

- ① 深まった
- ② 少し深まった
- ③ あまり深まらなかった



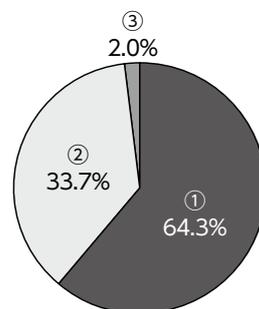
選挙について理解が深まりましたか。

- ① 深まった
- ② 少し深まった
- ③ あまり深まらなかった



市や地域社会に関心を持つことができましたか。

- ① 関心を持つことができました
- ② 少し関心を持つことができました
- ③ 関心を持っていない



吉田高校提供資料より

議会のうごき

議会のうごき 7月～9月の議会の主な活動状況

7月

- 11日 議会改革特別委員会
- 13～ 総務企画常任委員会
- 14日 先進地視察研修
産業建設常任委員会先進地視察研修
- 19日 高校生との意見交換会
(吉田高校)
- 20日 全員協議会
地域懇談会<高宮>
(産業建設常任委員会)
- 21日 議会広報特別委員会
地域懇談会<美土里>
(産業建設常任委員会)
- 31日 議会改革特別委員会

8月

- 1日 地域懇談会<甲田>
(総務企画常任委員会)
- 3日 議会広報特別委員会
地域懇談会<向原>
(総務企画常任委員会)
- 6日 地域懇談会<八千代>
(文教厚生常任委員会)
- 7日 産業建設常任委員会
- 9日 議会運営委員会
全員協議会
- 20日 地域懇談会<吉田>
(文教厚生常任委員会)
- 21日 全員協議会
道の駅整備調査特別委員会
議会改革特別委員会
- 23～ 文教厚生常任委員会
- 24日 先進地視察研修

9月

- 1日 議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 第3回定例会(開会)
議会広報特別委員会
- 11日 予算決算常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 13日 総務企画常任委員会
- 14日 文教厚生常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 19日 本会議 (一般質問)
- 20日 本会議 (一般質問)
全員協議会
- 21日 予算決算常任委員会
- 22日 予算決算常任委員会
議会運営委員会
- 28日 第3回定例会(最終日)
道の駅整備調査特別委員会
- 29日 議会広報特別委員会

■ 29年第4回定例会は12月上旬から開会を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

地域のかがやき

吉田 繫げバトン 創れ新たな吉高



第12回吉田高校体育祭(9月16日)

八千代 いつまでもお元気で!枕太鼓披露



下根・上根・向山地域振興会敬老の会(9月24日)

美土里 手作業による稲刈りに挑戦!



広島市内から27家族が参加した農業体験(9月24日)

高宮 長寿 お元気でようこそ!



下佐地域 29年度敬老会(10月9日)

甲田 正しい薬の飲み方講習をしました



甲立地区だるまサロン(9月12日)

向原 チームプレーをモットーに!



第35回少年野球向原大会(10月1日)

編集後記

だんだんと涼しくなり、日が短くなってきました。

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆様はどの秋を堪能されていますか。

日々移り変わる美しい色彩の自然は、まるで巨大なキャンパスのようで、「芸術の秋」を楽しむことができるなんて贅沢ですね。

私たち広報委員全員「読みやすく、わかりやすく」を基本に親しみのある、手に取ってみてもらえる議会だよりを目指してがんばっております。

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

(玉井直子)

〈発行責任者〉

議長 先川和幸

〈議会広報特別委員会〉

委員長 山根温子

副委員長 玉重輝吉

委員 新田和明

委員 芦田宏治

委員 玉井直子

委員 前重昌敬